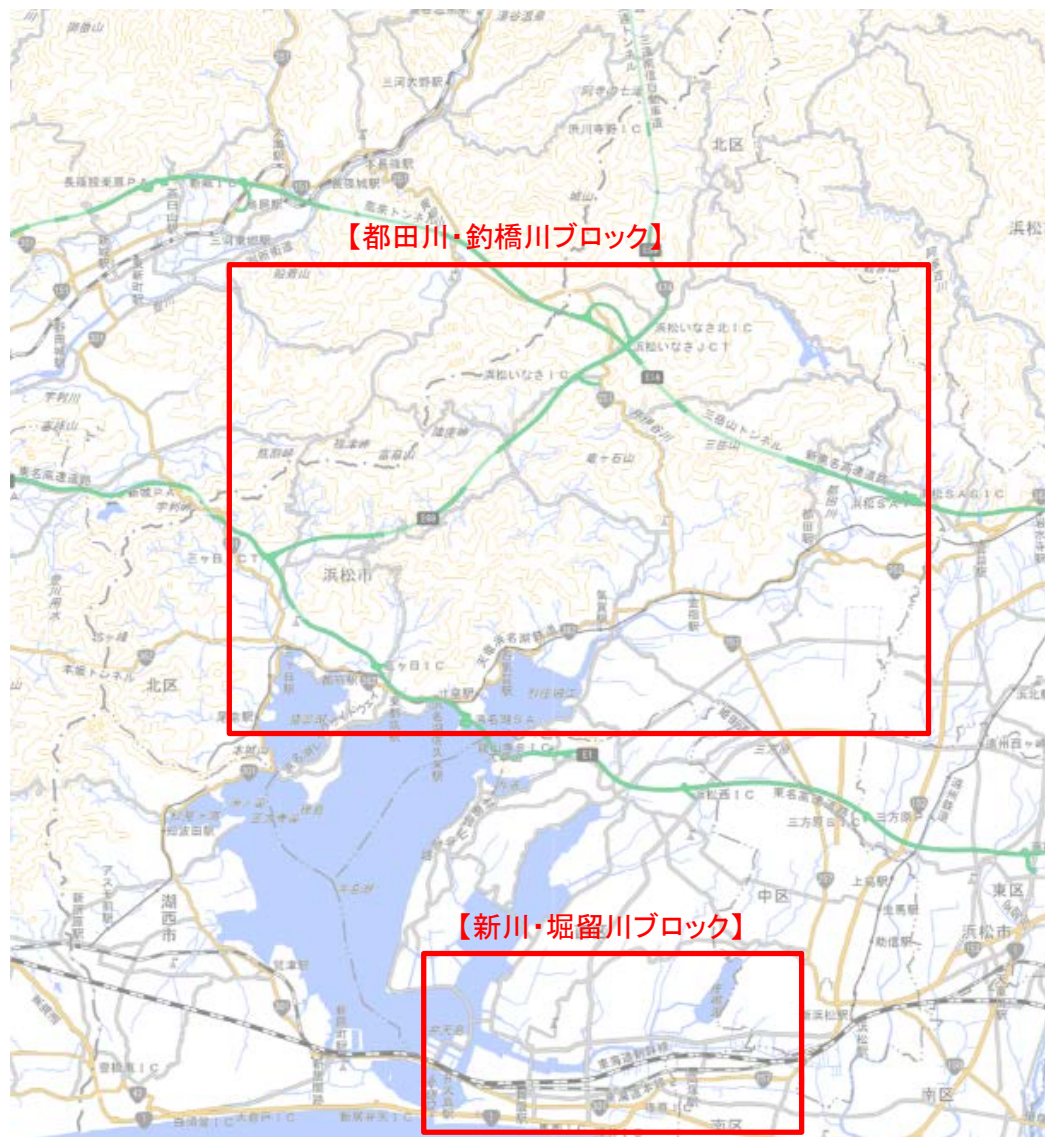


都田川水系流域治水プロジェクト【ブロック図】

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

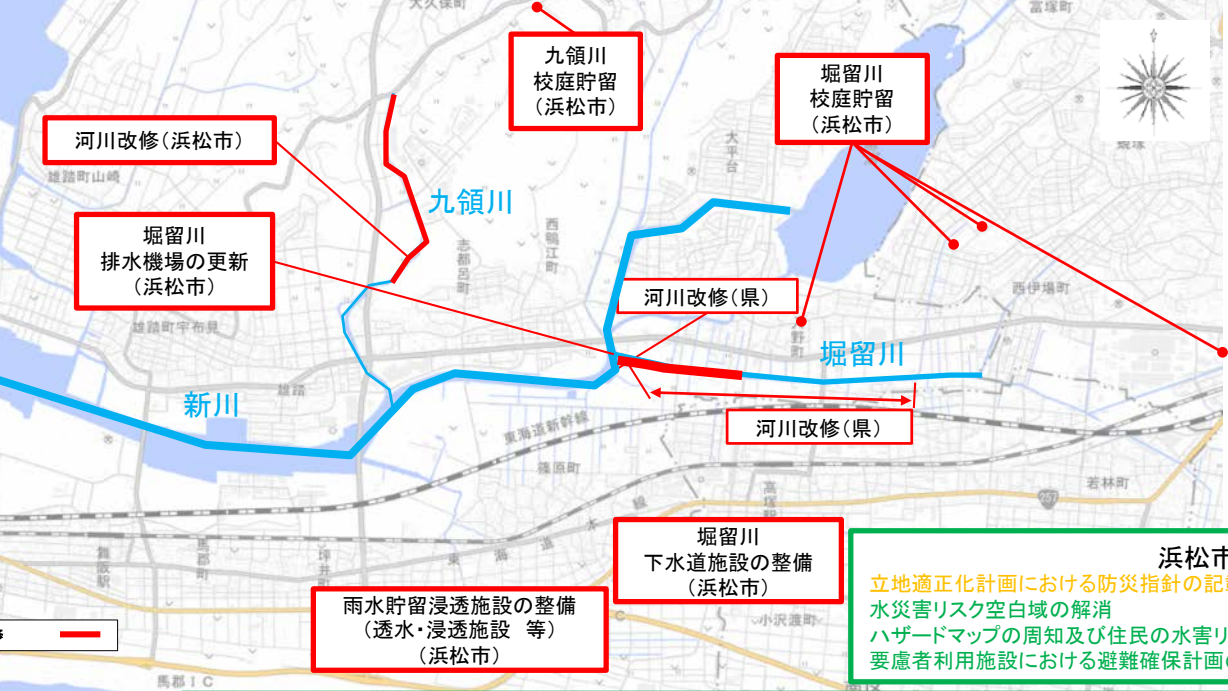
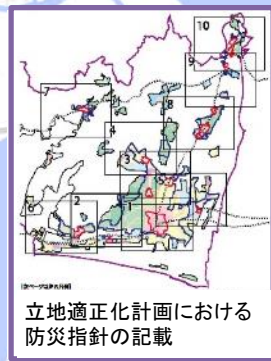
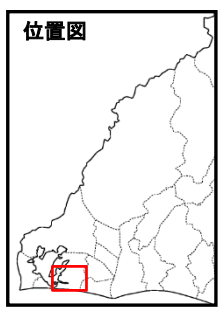
○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、都田川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。



都田川水系流域治水プロジェクト<新川・堀留川ブロック>【位置図】

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 堀留川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を行い、市が下水道施設の整備や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- 九領川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、市が河川改修や雨水貯留浸透施設の整備などの対策を実施していく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、堀留川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水に対して床上浸水の発生を防止し、九領川では、年超過確率 1/10 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



堀留川 河川改修



出前講座で水害リスク等の理解促進

浜松市
立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)
水災害リスク空白域の解消
ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河川改修(河道掘削、堤防整備 等)
 - ・排水機場の更新
 - ・下水道施設の整備
 - ・雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留、透水・浸透施設 等) 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・水災害リスク情報空白域の解消
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)
 - ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
 - ・要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・地域が作成する避難計画の作成支援(緊急避難所の指定等)
 - ・通行規制情報の周知(浜松市防災マップ)
 - ・水位情報およびカメラ映像の提供(県:サイポスレーダー、浜松市:浜松市土木防災情報システム)
 - ・緊急時のポンプ排水(可搬式ポンプの設置)
 - ・土のうステーション運営(西区役所ほか)
 - ・水防団の強化(備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等) 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・開発許可制度の見直し(市街地縁辺集落制度の見直し)
 - ・立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

都田川水系流域治水プロジェクト<新川・堀留川ブロック>

【ロードマップ・効果】

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

● 新川・堀留川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 県管理河川や市管理河川の河川改修、排水機場の更新を進める。

下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備に着手する。

開発許可制度の見直し(市街地縁辺集落制度の見直し)、立地適正化計画に防災指針を記載する。

【中期】 短期に引き続き、県管理河川や市管理河川の河川改修を進めるとともに、下水道施設、雨水貯留浸透施設の整備(浸透・透水性施設)に着手する。

【中長期】 中期に引き続き、県管理河川や準用河川の河川改修、下水道施設の整備、雨水貯留浸透施設の整備(浸透・透水性施設)を進める。

あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模

河川対策

全体事業費 約110億円 ※1

対策内容 河川改修等

※1：都田川水系河川整備計画のうち堀留川の残事業費を記載

都田川水系流域治水プロジェクト【新川・堀留川ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修(河道掘削、堤防補強等)	静岡県 浜松市	■	■	■
	排水機場の更新	浜松市	■	■	■
	下水道施設の整備	浜松市		■	■
	雨水貯留浸透施設の整備(校庭貯留等)	浜松市	■	■	■
	雨水貯留浸透施設の整備(透水・浸透施設等)	浜松市		■	■
被害対象を減少させるための対策	開発許可制度の見直し(市街地縁辺集落制度の見直し)	浜松市	■		
	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)	浜松市	■		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市	■		
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)	静岡県 浜松市	■	■	■
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県	■	■	■
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市	■	■	■
	地域が作成する避難計画の作成支援(緊急避難所の指定等)	浜松市	■	■	■
	通行規制情報の周知(浜松市防災マップ)	浜松市	■	■	■
	水位情報およびカメラ映像の提供(県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム)	静岡県 浜松市	■	■	■
	緊急時のポンプ排水(可搬式ポンプの設置)	浜松市	■	■	■
	土のうステーション運営(西区役所ほか)	浜松市	■	■	■
	水防団の強化(備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等)	浜松市		■	■



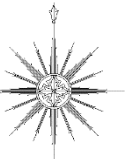
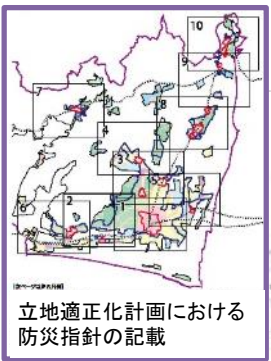
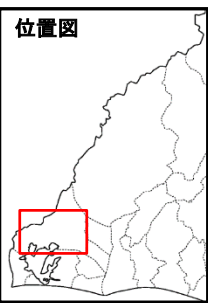
※【短期】概ね5年【中期】概ね10年目まで【中長期】概ね11年目以降

都田川水系流域治水プロジェクト<都田川・釣橋川ブロック>【位置図】

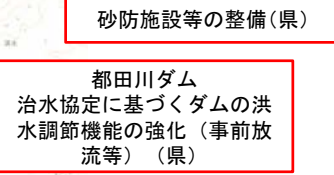
静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 都田川及び釣橋川流域では、流域の浸水被害軽減に向け、県が河川改修を実施していく。
- また、治水協定に基づく都田川ダムへの洪水調節機能の強化や、北区内の森林整備・治山事業による浸透能向上を図っていく。
- ソフト対策としては、浜松市土木防災情報システムなどを活用し、水位情報、カメラ映像、通行規制情報等を発信するとともに、出前講座や避難訓練の実施、更には土のうステーションの運営を通じて、市民による自助・共助の活動を支援していく。
- ハード対策の取組により、都田川、井伊谷川では、年超過確率 1/20 規模の降雨による洪水を安全に流下させるよう整備を進め、ソフト対策と合わせて流域一体となった治水対策を進める。



治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化 (事前放流等) (都田川ダム)



都田川ダム
治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化 (事前放流等) (県)



河道掘削により流下能力を向上



出前講座で水害リスクの理解促進

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・河川改修 (河道掘削、堤防補強 等)
 - ・治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化 (事前放流等)
 - ・森林整備・治山事業
 - ・砂防施設等の整備 等

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・立地適正化計画における防災指針の記載 (都市計画区域内)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・水災害リスク情報空白域の解消
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)
 - ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
 - ・要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・地域が作成する避難計画の作成支援 (緊急避難所の指定等)
 - ・通行規制情報の周知 (浜松市防災マップ)
 - ・水位情報およびカメラ映像の提供 (県: サイボスレーダー、浜松市: 浜松市土木防災情報システム)
 - ・土のうステーション運営 (北区役所ほか)
 - ・水防団の強化 (備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等) 等

河川改修 (県)

北区内
森林整備・治山事業 (県)

河川改修 (県)

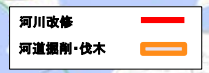
河道掘削 (県)

河道掘削 (県)

堤防補強 (県)

都田川
河道掘削 (県)

河川改修 (県)



- 浜松市**
立地適正化計画における防災指針の記載 (都市計画区域内)
水災害リスク空白域の解消
ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
要慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

都田川水系流域治水プロジェクト<都田川・釣橋川ブロック> 【ロードマップ・効果】

静岡県

～くらしと水辺のつながりが残る浜名湖とここに流れ込む河川周辺の地域を水害から守る流域治水対策～

- 都田川・釣橋川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上、砂防施設等の整備を進める。立地適正化計画に防災指針を記載する。
 - 【中期】 短期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。
 - 【中長期】 中期に引き続き、県管理河川の河川改修、都田川ダムの治水活用、森林整備・治山事業による浸透能向上を進める。あわせて、被害軽減のための取組をあらゆる関係者と一体となって推進する。

■事業規模 ・河川対策

全体事業費 約4億円 ※1
対策内容 河川改修 等

※1：都田川水系河川整備計画のうち
都田川、井伊谷川、神宮寺川の
残事業費を記載

都田川水系流域治水プロジェクト【都田川・釣橋川ブロック】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削、堤防補強 等）	静岡県	■	■	■
	治水協定に基づくダムの洪水調節機能の強化（事前放流等）	静岡県 浜松市	■	■	■
	森林整備・治山事業	静岡県	■	■	■
	砂防施設等の整備	静岡県	■	■	■
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画における防災指針の記載（都市計画区域内）	浜松市	■		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県 浜松市	■		
	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）	静岡県 浜松市	■	■	■
	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	静岡県	■	■	■
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	浜松市	■	■	■
	地域が作成する避難計画の作成支援（緊急避難所の指定等）	浜松市	■	■	■
	通行規制情報の周知（浜松市防災マップ）	浜松市	■	■	■
	水位情報およびカメラ映像の提供（県：サイボスレーダー、浜松市：浜松市土木防災情報システム）	静岡県 浜松市	■	■	■
	土のうステーション運営（北区役所ほか）	浜松市	■	■	■
	水防団の強化（備蓄資材の拡充、水防倉庫の改修等）	浜松市		■	■



※【短期】概ね5年【中期】概ね10年目まで【中長期】概ね11年目以降